

水田農業をめぐる情勢

1. 令和3年産米関係

(1) 相対取引価格動向（令和3年12月末）

単位：円/60kg、%

産地	銘柄	3年産	2年産	3年-2年	3年/2年
福島	中通りコシヒカリ	11,036	13,276	▲ 2,240	83
	会津コシヒカリ	12,700	14,899	▲ 2,199	85
	浜通りコシヒカリ	12,143	13,603	▲ 1,460	89
	ひとめぼれ	11,280	13,048	▲ 1,768	86
	天のつづ	11,532	12,531	▲ 999	92
全国	通年	13,033	14,522	▲ 1,489	90
(参考)新潟	コシヒカリ一般	15,720	16,526	▲ 806	95

注) 包装込・税込価格

(参考) 3年産米全体米価試算（令和3年12月末）

単位：%、円/60kg

区分	銘柄	地域等	ウェイト		3年産	2年産	3年-2年	3年/2年
福島県	コシヒカリ	中通り	35	54	11,036	13,276	▲ 2,240	83
		浜通り	4	7	12,143	13,603	▲ 1,460	89
		会津	25	39	12,700	14,899	▲ 2,199	85
		計	64	100	11,761	13,931	▲ 2,170	84
		ひとめぼれ		22	11,280	13,048	▲ 1,768	86
		天のつづ		14	11,532	12,531	▲ 999	92
		計		100	11,622	13,540	▲ 1,917	86
全国					13,033	14,522	▲ 1489	90

(参考) 3年産米生産者手取試算（令和3年12月末累計価格より試算）

区分	単位	金額	金額		
			3年産	2年産	3年-2年
全算入生産費	円/10a	A	120,376	120,376	0
物財費	円/10a	B	75,656	75,656	0
販売価格	円/60kg	C	11,622	13,540	▲ 1,918
流通経費	円/60kg	D	2,000	2,000	0
単収	kg/10a	E	536	544	▲ 8
生産者手取り	円/10a	F=(C-D)*E/60	85,957	104,629	▲ 18,673
「ナラシ」対策補てん	円/10a	G	20,087	4,577	15,510
収入計	円/10a	H=F+G	106,043	109,206	▲ 3,163
生産費との差	円/10a	I=H-A	▲ 14,333	▲ 11,170	▲ 3,163
物財費との差	円/10a	J=H-B	30,387	33,550	▲ 3,163

注) 令和3年産米単収は、1. 85mm以上(12月8日公表)で試算。

(2) 集荷数量・契約・販売進捗等（令和3年11月末）

単位：千ト、%

区分	銘柄等	年産	集荷数量	契約数量	販売数量	契約進捗	販売進捗	契約残数量	販売残数量
福島	中通コシヒカリ	3年産	37.20	12.30	3.70	33.06	9.95	24.90	33.50
		2年産	40.20	13.00	3.50	32.34	8.71	27.20	36.70
		比率・差	92.54	94.62	105.71	0.73	1.24	▲ 2.30	▲ 3.20
	会津コシヒカリ	3年産	24.10	27.00	1.50	112.03	6.22	▲ 2.90	22.60
		2年産	28.10	27.00	1.30	96.09	4.63	1.10	26.80
		比率・差	85.77	100.00	115.38	15.95	1.60	▲ 4.00	▲ 4.20
	浜通りコシヒカリ	3年産	3.60	3.80	0.20	105.56	5.56	▲ 0.20	3.40
		2年産	4.40	4.40	0.50	100.00	11.36	0.00	3.90
		比率・差	81.82	86.36	40.00	5.56	▲ 5.81	▲ 0.20	▲ 0.50
	ひとめぼれ	3年産	20.60	10.30	2.40	50.00	11.65	10.30	18.20
		2年産	24.20	10.10	2.00	41.74	8.26	14.10	22.20
		比率・差	85.12	101.98	120.00	8.26	3.39	▲ 3.80	▲ 4.00
	天のつぶ	3年産	13.40	7.90	2.20	58.96	16.42	5.50	11.20
		2年産	18.30	7.50	2.20	40.98	12.02	10.80	16.10
		比率・差	73.22	105.33	100.00	17.97	4.40	▲ 5.30	▲ 4.90
	全体	3年産	108.80	65.10	11.20	59.83	10.29	43.70	97.60
		2年産	127.00	67.80	12.60	53.39	9.92	59.20	114.40
		比率・差	85.67	96.02	88.89	6.45	0.37	▲ 15.50	▲ 16.80
全国	3年産	2,431.00	1,690.00	407.00	69.52	16.74	741.00	2,024.00	
	2年産	2,446.00	1,841.00	388.00	75.27	15.86	605.00	2,058.00	
	比率・差	99.39	91.80	104.90	▲ 5.75	0.88	136.00	▲ 34.00	
参考 新潟	コシヒカリ一般	3年産	123.60	90.10	17.50	72.90	14.16	33.50	106.10
		2年産	133.50	105.10	18.70	78.73	14.01	28.40	114.80
		比率・差	92.58	85.73	93.58	▲ 5.83	0.15	5.10	▲ 8.70

(3) 民間在庫（農家在庫を除く）の動向（令和3年11月末）

単位：千ト

区分		3年11月末	2年11月末	3年-2年
福島	当年産	145	172	▲ 28
	1年古米	46	49	▲ 3
	全体	194	222	▲ 28
全国	当年産	2,860	2,970	▲ 110
	1年古米	570	400	170
	全体	3,520	3,440	80
(参考) 新潟	当年産	268	304	▲ 36
	1年古米	24	24	0
	全体	294	328	▲ 34

(4) 事前契約数量（令和3年11月末現在）

単位：千ト

年産	区分	11月末		全体		
		集荷数量	事前契約	集荷数量	事前契約	事前契約率
令和3年産	全国	2,431	1,331			
	福島	109	52			
令和2年産	全国	2,446	1,510	3,004	1,499	49.9
	福島	127	50	150	48	32.1
3年産- 2年産	全国	▲ 15	▲ 179			
	福島	▲ 18	2			

## (5) 農産物検査結果（水稻うるち玄米・令和3年11月末）

単位：ト、%

区分	全国			福島			
	3年産	2年産	3年-2年	3年産	2年産	3年-2年	
数量		3,926,194	4,044,475	▲ 118,281	205,867	241,193	▲ 35,326
	コシヒカリ	1,147,187	1,202,554	▲ 55,367	106,684	121,522	▲ 14,838
	ひとめぼれ	350,431	358,722	▲ 8,291	42,888	48,555	▲ 5,667
	その他	2,428,576	2,483,199	▲ 54,623	56,295	71,116	▲ 14,821
ウェイト		100	100	0.0	100	100	0
	コシヒカリ	29.2	29.7	▲ 0.5	51.8	50.4	1
	ひとめぼれ	8.9	8.9	0.1	20.8	20.1	1
	その他	61.9	61.4	0.5	27.3	29.5	▲ 2
1等比率		83.1	80.3	2.8	94.3	89.1	5.2
	コシヒカリ	83.0	77.2	5.8	95.9	91.3	4.6
	ひとめぼれ	93.4	90.4	3.0	95.2	90.9	4.3
	天のつぶ	89.9	79.9	10.0	89.9	79.9	10.0

## 2. 令和3年度補正予算・令和4年度当初予算決定内容等

### (1) 令和3年度補正・令和4年度当初水田活用関連予算（概要）

単位：億円

項目	令和3年度補正		令和4年度当初
水田活用の直接支払交付金	240		3,050
コロナ影響緩和特別対策	165		
水田リノベーション事業	生産性向上	410	
	機械・施設整備支援	10	
計	420		
麦・大豆生産性向上事業	生産性向上等	22	1
	保管施設整備等	11	
計	33		1
合計	858		3,051

### (2) 令和4年度当初予算「水田活用の直接支払交付金」変更点（概要）

項目	水活直払いの見直し内容
飼料用米複数 年加算	○R2・R3年以降分に6千円／10a交付 ○新たに新市場開拓用米に複数年加算10千円／10a交付
転換作物加算 等	○「水田リノベーション事業」と趣旨が重複するため廃止
交付対象水田	○今後5年間一度も水張りされない水田は対象から除外
多年生作物	○収穫のみ行う年は10千円／10a交付
高収益作物畑 地化支援	○高収益作物以外は105千円／10a交付

### (3) 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業 (概要)

#### 1. 対象者

○水田 (直接支払交付金の対象水田) で対象作物を生産する販売農家・集落営農組織

#### 2. 対象作物

○令和4年産 (基幹作) の新市場開拓用米、加工用米、麦、大豆、高収益作物 (野菜等)、子実用とうもろこし

#### 3. 支援内容

○作物ごとに定める低コスト生産等の取り組み面積に応じ4万円/10a (加工用米は3万円/10a)

#### 4. 要件・留意事項

- (1) 地域農業再生協議会が産地と実需者が連携して輸出や加工に取り組むプランを策定し、農業者がそのプランに位置付けられていること。
- (2) 農業者または農業者と出荷契約を締結する集出荷業者が実需者と販売契約を締結する計画を有すること。
- (3) 本事業で支援を受けた水田面積については、令和4年度の水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成および都道府県に対する産地交付金の取組みに応じた追加配分対象面積からは除外。

### (4) 水田麦・大豆産地生産性向上事業 (概要)

#### 1. 支援ほ場

○田 (水田活用の直接支払交付金の交付対象水田)

#### 2. 対象作物

○麦 (小麦・大麦・はだか麦) ・大豆

#### 3. 支援対象者

○農業者の組織する団体、地域農業再生協議会

#### 4. 採択要件

○都道府県・産地で「麦・大豆生産性向上計画」を作成すること。

#### 5. 支援内容

(1) **話し合い等を通じた団地化推進経費**

(2) **営農技術等の導入**

○生産性向上や需要に応じた生産に向け、技術・品種を導入する場合、内容に応じ15,000円/10a以内で定額支援。

(3) **機械・施設の導入**

○生産性向上等に必要となる機械・施設の購入・リースを支援 (1/2以内、5,000万円未満の機械・施設が対象)。

### 3. ナラシ対策の運用見直し概要

○ナラシ対策については、令和4年産から以下の見直しを実施。

#### 【見直しの趣旨】

○ナラシ対策において、具体的な出荷・販売予定にしたがって計画的に生産された主食用米を対象とすることで、需要に応じた米作りを後押し。

○具体的には、米について令和4年産から、農業者が事前に集出荷

業者（JA等）と出荷契約を締結したものをナラシ対策の補てん対象とする。

**【事前契約の要件化】**

- 生産者から集出荷業者への出荷または販売
  - ・6月末までに出荷契約または販売契約を結び、翌年3月末までに出荷・販売されたもの。
- 生産者から実需者・卸への直接販売
  - ・6月末までに前年の実績等をもとに販売契約を作成し、翌年3月末までに販売契約を結んだもの。

以上

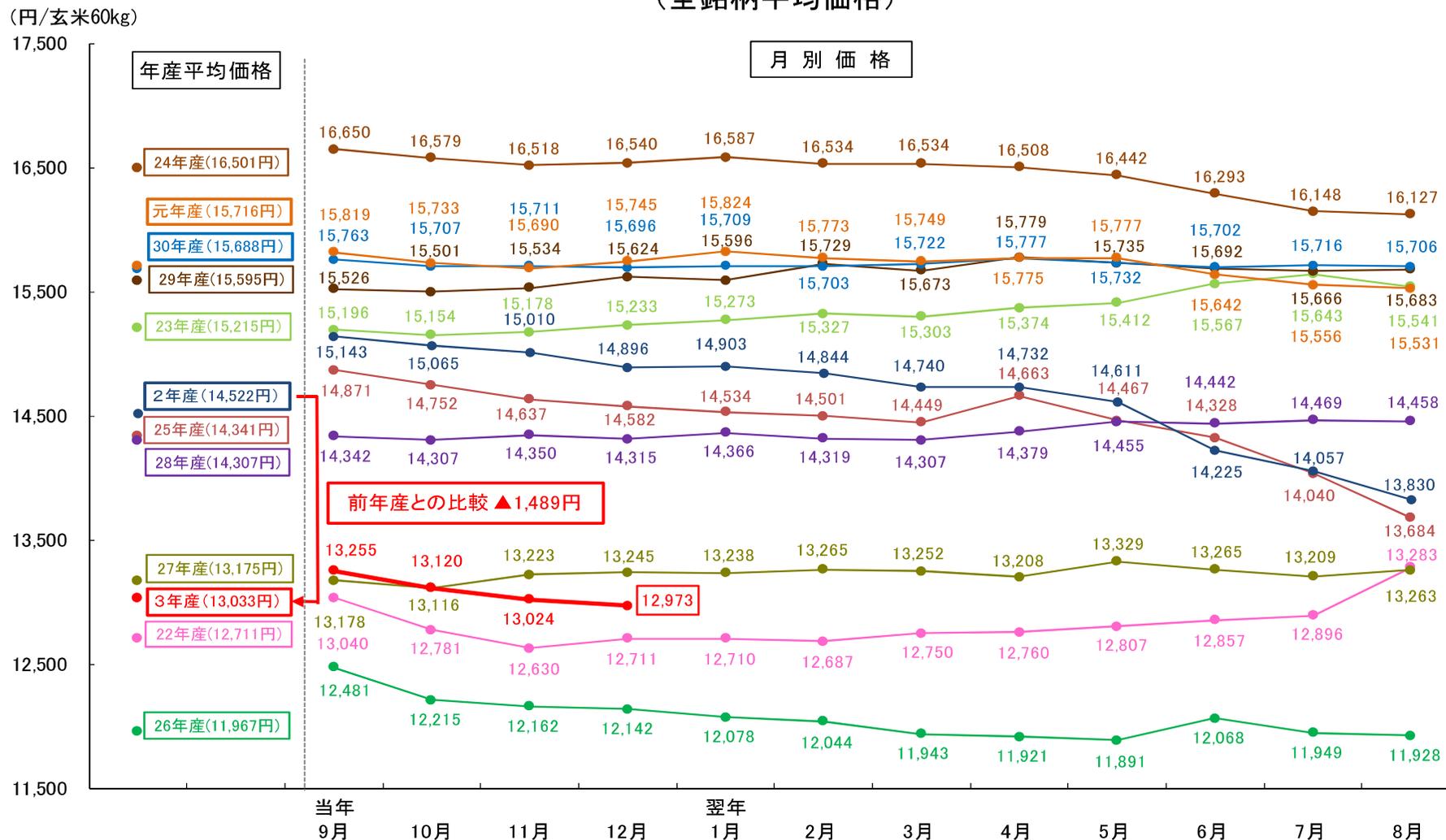
**<添付資料>**

- 相対取引価格の推移（平成22年産～令和3年産）
- 令和4年度における水田活用の直接支払交付金概要（農林水産省）
- ナラシ対策の運用見直し（米について事前契約を要件化）

# 相対取引価格の推移(平成22年産～令和3年産)

○ 令和3年産米の令和3年12月の相対取引価格は、全銘柄平均で前月差▲51円の12,973円/60kgとなり、出回りからの年産平均価格は前年産▲1,489円の13,033円/60kgとなったところ。

相対取引価格の推移(税込)  
(全銘柄平均価格)



資料：農林水産省調べ

注1：運賃、包装代、消費税相当額(平成26年3月までは5%、元年9月までは8%、元年10月以降は10%、ただし軽減税率対象は8%)を含む1等米の価格である。

注2：グラフの左側は各年産の通年平均価格(当該年産の出回りから翌年10月(3年産は令和3年12月)まで、2年産、3年産は速報値)、右側は月ごとの価格の推移。

# 2 水田活用の直接支払交付金

【令和4年度予算概算決定額 305,000 (305,000) 百万円】

## <対策のポイント>

米政策改革の定着と水田フル活用の推進に向け、食料自給率・自給力の向上に資する**麦、大豆、飼料用米等の戦略作物の本作化**とともに、地域の特色をいかした**魅力的な産地づくり、高収益作物の導入・定着等**を支援します。

## <政策目標>

- 麦・大豆等の作付面積を拡大（麦30.7万ha、大豆17万ha [令和12年度まで]）
- 実需者との結びつきのもとで、需要に応じた生産を行う産地の育成・強化
- 飼料用米、米粉用米の生産を拡大（飼料用米：70万トン、米粉用米：13万トン [令和12年度まで]）
- 飼料自給率の向上（34% [令和12年度まで]）

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 戦略作物助成

水田を活用して、**麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米、飼料用米、米粉用米**を生産する農業者を支援します。

### 2. 産地交付金

「水田収益力強化ビジョン」に基づく、地域の特色を活かした**魅力的な産地づくり**に向けた取組を支援します。

### 3. 水田農業高収益化推進助成

都道府県が策定した「水田農業高収益化推進計画」に基づき、**高収益作物の導入・定着等**を図る取組を支援します。

### 4. 都道府県連携型助成

都道府県が**転換作物を生産する農業者を独自に支援**する場合に、農業者ごとの前年度からの転換拡大面積に応じて、都道府県の支援単価と同額（上限：0.5万円/10a）で**国が追加的に支援**します。

### 5. 水田リノベーション助成

**産地と実需者との連携の下、新市場開拓用米等の低コスト生産等の取組を行う農業者を支援**します。 ※7・8

- ※7 予算（20億円）の範囲内で、助成対象となる地域農業再生協議会を決定
- ※8 令和3年度補正予算「新市場開拓に向けた水田リノベーション事業」と一体的に執行

### 戦略作物助成

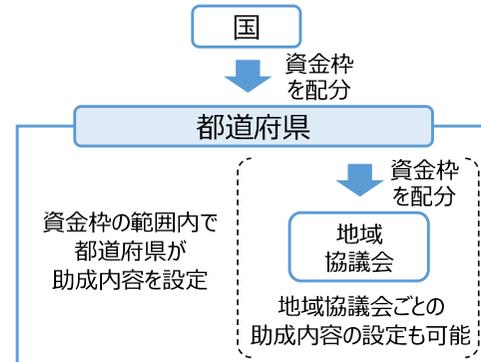
対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物※1	3.5万円/10a※2
WCS用稲	8万円/10a
加工用米	2万円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、5.5万円～10.5万円/10a※3

### <交付対象水田>

- ・たん水設備（畦畔等）や用水路等を有しない農地は交付対象外
- ・現場の課題を検証しつつ、今後5年間（令和4～8年度まで）で一度も水張り（水稲作付）が行われない農地は令和9年度以降交付対象としない

- ※1：飼料用とうもろこしを含む
- ※2：多年生牧草について、収穫のみを行う年は1万円/10aで支援
- ※3：標準単収以上の収量が確実だった者には、自然災害等の場合でも、特例措置として、標準単価（8万円/10a）で支援

### 産地交付金



○ 当年産の以下の取組に応じて資金枠を追加配分

取組内容	配分単価
そば・なたね、新市場開拓用米、地力増進作物※4の作付け（基幹作のみ）	2万円/10a
新市場開拓用米の複数年契約（3年以上の新規契約を対象に令和4年度に配分）	1万円/10a
飼料用米・米粉用米の複数年契約（令和2年・3年からの継続分のみ）	0.6万円/10a

※4：有機栽培や高収益作物等への転換に向けた土づくりの取組

### 水田農業高収益化推進助成

- ① **高収益作物定着促進支援**（2万円（3万円※5）/10a×5年間）  
高収益作物の新たな導入面積に応じて支援。（②とセット）
- ② **高収益作物畑地化支援**（17.5万円/10a）  
高収益作物による畑地化の取組を支援※6。
- ③ **子実用とうもろこし支援**（1万円/10a）  
子実用とうもろこしの作付面積に応じて支援。

- ※5：加工・業務用野菜等の場合
- ※6：令和5年度までの時限単価。その他の転換作物に係る畑地化は10.5万円/10aで支援

## <事業の流れ> 営農計画書・交付申請書等の取りまとめ



【お問い合わせ先】 農産局企画課（03-3597-0191）

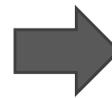
- ナラシ対策において、具体的な出荷・販売予定に従って計画的に生産された主食用米を対象とすることで、需要に応じた米作りを後押し。
- 具体的には、米について、R4年産から、農業者が事前に集出荷業者（JA等）と出荷契約を結んだもの等をナラシの補てん対象とする。

## 〈ナラシ対策の対象となる米：主食用米〉

### 現行

- ① 生産者から集出荷業者へのお荷又は販売  
・ 翌年3月末までにお荷又は販売されたもの
- ② 生産者から実需者・卸への直接販売  
・ 翌年3月末までに販売契約を結んだもの

需要に応じた生産を緩やかに担保



### 見直し後（事前契約の要件化）

- ① 生産者から集出荷業者へのお荷又は販売  
・ 6月末までに出荷契約又は販売契約を結び、  
 翌年3月末までにお荷又は販売されたもの
- ② 生産者から実需者・卸への直接販売  
・ 6月末までに前年の実績等を基に販売計画を  
 作成し、翌年3月末までに販売契約を結んだ  
 もの

事前契約を要件化することで、需要に応じた米生産を強力に推進

※ ナラシ対策の対象農産物のうち、麦と大豆は、既に播種前契約に基づき生産されたもののみが補てんの対象。